

”多様”であるとは何か

～不登校経験者が語る”多様な”生き方～

昨年「多様」な学びを巡る大きな動きがありました。教育機会確保法が成立し、不登校とフリースクール、学校の関係が少し変わっていくことになっています。行政が「多様」という言葉を使うようになり、状況の違う人それぞれに応じた対応が進められようとしています、それによって私たちの生きづらさは変わっていくのでしょうか。

libyは“多様な”子どもたちが集う居場所として開いてきましたが、この先、居場所はどんなになっていくのでしょうか。そして多様な私たちは、これからどう生きていくのでしょうか。一緒に考えませんか？

日 程：2017年 **3** 月 **18** 日(土)

時 間：14：00～16：00

会 場：東京YMCA
山手コミュニティセンター

(詳細は裏面をご覧ください)

参加費：1,000円
(学生などなど 5,00円)

当日突然参加大歓迎です
参加費ご相談ください

第1部 基調講演

はやし なおゆき
林 尚之さん

立命館大学 専門研究員

小中と不登校を経験。生きづらさを感じ、哲学や文学にひたる。大学卒業後に小説家をめざすものの、自分や社会をつくりだしているものに関心がいき、大学院で歴史学を専攻する。大阪府立大学大学院修了後、日本学術振興会特別研究員を経て、立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員。専門は近現代史、憲法史、憲法思想史。主要業績に、林尚之『主権不在の帝国』(有志舎、2012年)、林尚之・住友陽文編『立憲主義の「危機」とは何か』(すずさわ書店、2015年)、林尚之・梅田直美編『自由と人権—社会問題の歴史からみる』(大阪公立大学共同出版会、2017年)がある。

第2部 パネルトーク

不登校経験者が語る
“多様”にまつわるディスカッション

進行 **丸山 恒**さん

元高校教諭/liby運営委員

林 尚之さん

第1部講演者

信夫 陽一さん

相談支援相談員

精神保健福祉士/社会福祉士

小倉 哲

オープンスペース liby スタッフ

▼お問合せ：東京YMCA “liby (リビー)”
TEL 03-3397-0521 [12時~19時]
e-mail liby@tokyoymca.org

▼会場へのアクセス

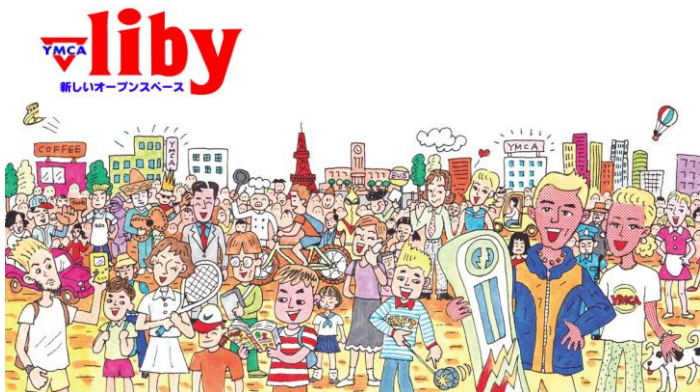
公益財団法人東京 YMCA 山手コミュニティセンター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目18-12

電話 03-3202-0321



東京メトロ東西線 高田馬場駅下車 7番出口
 西武新宿線・JR山手線 高田馬場駅下車 徒歩7分
 東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 1番出口 徒歩3分
 都営バス早稲田大学行「高田馬場2丁目」下車 徒歩2分



let it be at the YMCA of Tokyo の略。
 子どもたちがありのままに過ごせる場所です。
 誰かが子どもたちを指導したり教えたりというよりも、
 子どもたちが考えていること、やっていること、願いを、
 ここで関わってる大人たちが共有し、
 共に”いま”を生きている場所です。
 学校外の居場所を活動の中心にしなが、若者の語れる場
 (URA-liby) や不登校の子どもを持つ親の会、様々な講演会活
 動を行っています。
 わたしたちは liby に集う誰かと共に毎日を過ごしなが、
 『お互いに“let it be”でいられること』を考えていきます。

YMCA 東京YMCA高等学院

通信制高等学校サポート校

東京YMCA高等学院はこんな学校！

| | | |
|--------------------------|-------------------|----------------|
| 一人ひとりを 尊重する | 「自由」と「信頼」を 基礎に | 少人数で アットホーム |
| あなたは、 あなたらしく あっていい | 暖かな人間関係 | 充実の 体験学習 |

Life is a Rainbow
 人生は虹色。

一度、ぜひ学校を見に来てください！

